



経過報告

H30.12.1~H31.2.28

◆平成30年12月~平成31年2月のビューロー西でのボランティア登録は、個人が1名(女性)、グループは1グループでした。どちらも新規の登録でした。

◆同期間のボランティアは、個人93名および102グループ(535名)の方々に、演芸(歌や踊り、楽器演奏、手品等)、傾聴やお話し相手、プール等での付添い、パソコン教室の補助等でご支援頂きました。ありがとうございました。

来訪者	134名
ボランティア登録	2件
ボランティア派遣	628名
車いす貸し出し	4件

手話で話そう楽しい会話

< 緑茶 >

右手を急須に見立てお茶を注ぐ様子。



右手の親指と小指を立てて、親指側に傾ける。

< 紅茶 >

ティーバッグを上げ下げする様子から。



左手の親指と人差し指をつけ、何かをもつ形の右手を上下する。

グループ紹介

「霞ヶ関地区 配食サービス『やまぶき』」

当会は「霞ヶ関地区配食サービス『やまぶき』」と称し、平成十一年に発足し、活動を開始した。原則として霞ヶ関地区に居住する一人暮らしの高齢者または二人暮らしで一人が外出不自由と認められる高齢者及び一人暮らしで心身に障害や疾患のある方で宅配が望ましいと認める人を対象としている。

配達に当たる方々は民生・児童委員及び地域ボランティアの二十四名で構成され、受給者は八班に各六名、計四十八名を対象としている。

お弁当は、老人ホーム「やまぶき」と「真寿園」より受領し、毎月各二回程度の宅配を行い、その都度安否確認も行なっている。

受給者からは、

「いつもご苦労様。ありがとうございます。」

「毎回この日を楽しみにしているのよ。」

といった心温まる言葉を頂いている。作りたての温かなお弁当とともに、宅配に当たってくださる方々の優しい思いが、こんな感謝の言葉となつてかえってくるのだと思う。

この活動は単なるお弁当の宅配ではないと思う。お弁当とともに届けられる温かな心によって、素晴らしい人と人との繋がりが出来るのだろう。

これからも日々の苦勞を使命に変えて、笑顔を忘れることなく、温かなお弁当を届けていきたい。

代表 神山 裕一 (こうやま)

ボランティアビューロー西

〒350-0815 川越市鯨井 1556-1
川越西文化会館(メルト)内 ☎・Fax 231-5730
開室日 月曜・水曜・土曜 10:00~15:00

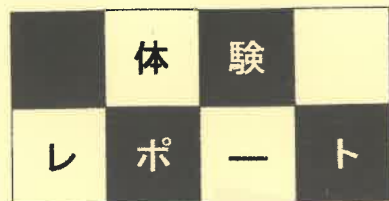
ボランティアビューロー だより



NO. 116

2019. 3. 25発行

社会福祉法人川越市社会福祉協議会
ボランティアビューロー西(西文化会館内)



拡がれネットワーク

「私のボランティア体験」

松原 常夫

私のボランティア活動をするきっかけは、東日本大震災の時であった。長らく防災関係の第一線で勤務していたため退職後も何か災害時にできる事はないかと色々模索していた。

一個人となって自分の経験を活かせ、又自分のスケジュールに合わせて、直接被災者に対して即行動に移せるのは、ボランティアが最適だと判断した。

東日本大震災では自家用車にテント、食糧、スコップ等の資材を積んで相馬、南相馬、気仙沼等のボランティアセンターに出向き、がれきの撤去や家具の洗浄等を行った。今でも市の方から災害復興状況や各種イベント等の情報メールが定期的に送られて来る。

熊本地震では、ボランティアセンターの運営スタッフとして多くのボランティアを災害現場に送り出した。特に全国から多くの若者や地元学生達が長期間に渡り汗を流す姿を目にして心が熱く豊かになるのを感じた。

最近、山口県でログハウス作りに挑戦しており、山口在住中は豪雨災害支援活動、祭りや地域の催事支援、更にキャンプ場や登山道の草刈り等を実施している。川越市では、ボランティアセンターからの依頼による障害者の支援活動もさせて頂いている。活動を通じて新たな発見や貴重な体験が多々あり自分の活力源となっている。

今後も「人生下り坂を有意義に」また様々なボランティアニーズに対し「一歩前に踏み出し行動に移す」を心掛け、自分にあった活動を続けて行こうと思う。

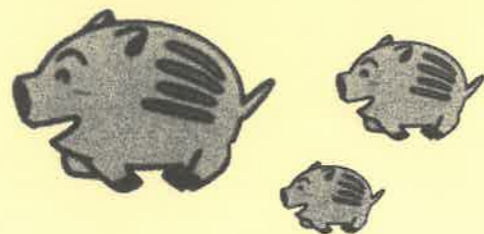
「やめずに続けた傾聴ボランティア」

武永 章子

自分の時間が増えてきた9年前、社協だよりで傾聴ボランティア養成講座の募集を見つけました。人に話すことは苦手だけれど、人の話を聞くことならできるかも、と軽い気持ちで応募しました。養成講座を受講後、傾聴ボランティアグループに加入して活動が始まりました。活動を始めて、頭の中が真っ白になることを何度も何度も経験し、どうしたらいいのかわからなくなり、「私には向いていなかったのかも…」と思いました。でも、傾聴ボランティアグループに加入した最初の日に「やめるのは簡単だけれど、一年は続けてみてください」と言われた言葉を信じて続けました。そして傾聴の奥深さや楽しさを知り今に至ります。

傾聴を続けてきた今は、言葉の背景を考えるように気をつけています。以前の私は言葉そのものを受け取り、なぜそういう言葉が出てくるのかを考えず、強い言葉を言われれば嫌な気持ちになっていました。今は「どうしてその言葉が出てくるのだろうか？」と考えるようになってきました。とはいえ、まだまだ浅い答えしか見つけられませんが、それでも以前より心が豊かになった様な気がします。

軽い気持ちで始めた傾聴活動ですが、今まで話を聴かせてくれた方達に感謝をしながら、そしてこれからどんな方達と出会えるのかを楽しみにしながら続けていこうと思います。



施設紹介

「コミュニティサロン かすみ草」

かすみ草は、地域の誰もが気軽に立ち寄れる場所を目指しています。霞ヶ関北地区社会福祉協議会と医療法人健友会で運営、地域のボランティアスタッフさんと一緒に毎週火曜日～木曜日（祝日を除く10時～16時）にオープンしています。カフェスペースは、利用料100円（中学生以上。小学生は50円、小学生未満は無料）でお菓子や昼食の持ち込みもOKです。

毎月開催される講座に参加したり、おしゃべりや創作活動など様々な形でご利用可能です。

コミュニティサロンかすみ草
影森 (☎049-231-0372)
川越市霞ヶ関東2-2-17

お知らせ

(1) ボランティア登録、更新とボランティア保険加入のお願い

平成31年度の登録、更新手続きが始まりました。

保険料と印鑑をご持参の上、ビューロー西までお越しください。

平成31年度もご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

(2) 登録ボランティア春のウォーキング

日時 4月5日(金) 10:00-12:00

集合場所 川越西文化会館(メルト)

コース 鯨井、上戸方面

※参加ご希望の方はビューロー西までご連絡ください。

※雨天中止

登録ボランティア 新年交流会の開催報告

1月31日(木) 10時より川越西文化会館(メルト) リハーサル室にて恒例の新年交流会を開催いたしました。今年はボランティア室登録のボランティアグループ「小江戸川越玉すだれ」さんにお越しいただき、どじょう掬いや玉すだれ等の芸を披露して頂きました。その後は活動報告や意見交換を行ないました。

皆様のご協力により賑やかな交流会となりました。多数のご参加をいただきありがとうございました。

